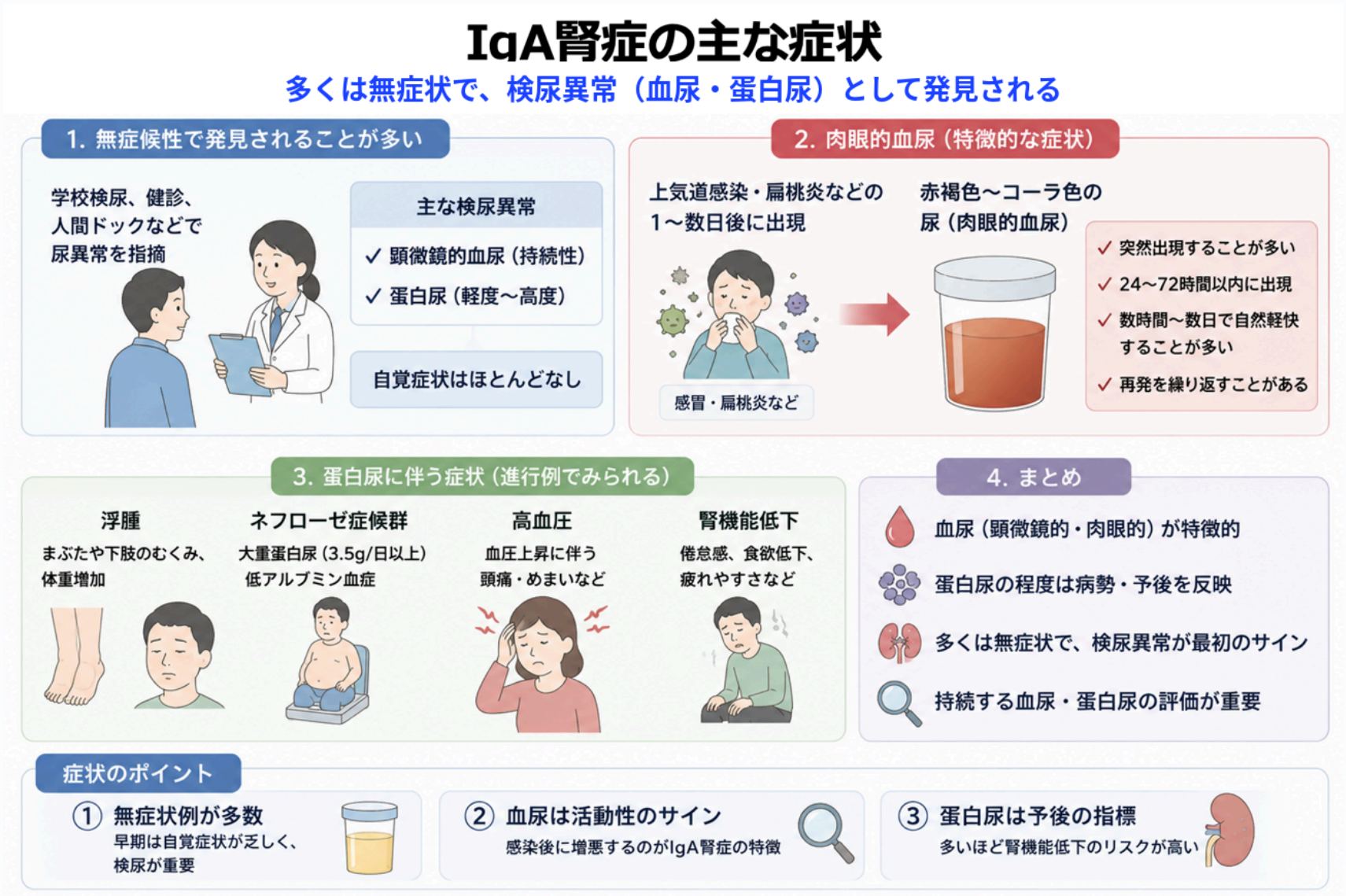
医療者向け

# IgA腎症の症状（血尿・蛋白尿など）




IgA腎症の代表的な症状は蛋白尿と血尿です。しかし、多くの患者では初期には自覚症状がなく、本邦では学校検尿や健康診断で偶然発見されることが少なくありません。そのため、無症候性の顕微鏡的血尿や軽度蛋白尿で経過している患者も多く存在します。

血尿には顕微鏡的血尿と肉眼的血尿があります。顕微鏡的血尿は最も頻度の高い所見であり、血尿を初発症状として発症することが多く、持続的に認められることが特徴です。一方、約10～20%の患者では、感冒や扁桃炎などの上気道感染後24～72時間以内に赤褐色あるいはコーラ色の肉眼的血尿を認めます。近年ではCOVID-19ワクチン後に肉眼的血尿を認める症例も多数報告されています[1)]。この肉眼的血尿は数日以内に自然軽快することが多く、IgA腎症に特徴的な臨床経過の一つです。

蛋白尿は糸球体障害の程度を反映する重要な指標であり、蛋白尿が多いほど将来的な腎機能低下リスクは高くなります。現在のKDIGOガイドラインでは、蛋白尿を0.5 g/日未満（可能であれば0.3 g/日未満）にコントロールすることが推奨されています[2)]。

近年では、蛋白尿だけでなく持続する血尿も疾患活動性を反映する重要なマーカーとして注目されています[3), 4)]。血尿が持続する患者では、蛋白尿の程度にかかわらず腎機能低下リスクが高いことが報告されており、尿所見全体を経時的に評価することが重要です。また、高度蛋白尿では浮腫、高血圧、腎機能低下などを伴うこともありますが、症状が乏しくても病変が進行している場合があるため、定期的な尿検査と腎機能評価が必要です。

## 参考文献


1) Aoki R, Nihei Y, Matsuzaki K, et al. Gross hematuria after the COVID-19 mRNA vaccination: nationwide multicenter prospective cohort study in Japan. Kidney360. 2024; 5: 1322–1332.

2) Executive summary of the KDIGO 2025 Clinical Practice Guideline for the Management of Immunoglobulin A Nephropathy (IgAN) and Immunoglobulin A Vasculitis (IgAV). Kidney Int. 2025; 108: 548-554.

3) Pitcher D, Braddon F, Hendry B, et al. Longterm outcomes in IgA nephropathy. Clin J Am Soc Nephrol. 2023; 18: 727-38.

4) Yano Y, Nagasu H, Kanegae H, et al. Kidney outcomes associated with haematuria and proteinuria trajectories among patients with IgA nephropathy in real-world clinical practice: The Japan Chronic Kidney Disease Database. Nephrology. 2024; 29(2): 65-75.